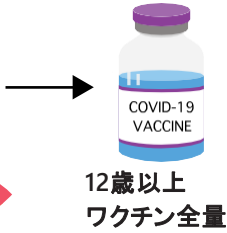




COVID-19ワクチン 青少年が知っておくべきこと



私はCOVID-19のワクチンを受けられますか？

はい！

- 12歳以上の場合、成人と同じ**Pfizer**のワクチン接種を受けます。(5歳から11歳の子供は少ない接種量を受けます。)
- COVID-19ワクチンは3~8週間の間隔を置いて**プライマリーシリーズの2回接種**として接種されます。**ブースター接種**は5か月後に受けることができます。
- COVID-19ワクチンはインフルエンザやHPVワクチンのような他のワクチンと同時に接種を受けることができます。
- 健康保険に加入していなくても、**無料**でワクチン接種を受けることができます。
- 滞在資格について質問されることはありません。

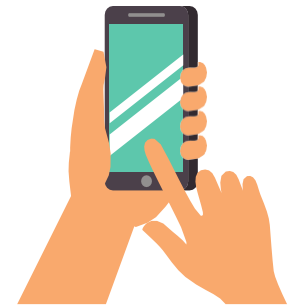
なぜ COVID-19に対するワクチン接種が必要なのですか？

- ワクチン接種を受けることは、**ご自身を保護する**最善の方法です。COVID-19に感染すると、自分に症状が無くても、他者にウイルスを拡散させることができます。
- COVID-19に感染した若者のほとんどは軽症、または無症状ですが、中には重症化したり、長期の健康問題を引き起こす場合もあります
- ワクチン接種を受けることで、スポーツをしたり、友達に会ったり、離れた家族や親戚に会いに行くことなどがより安全にできるようになります。
- 一部の学区ではワクチン接種が義務付けられています。

ワクチン接種はどこで受けられますか？

COVIDワクチンは多くの病院、クリニック、学校、薬局などで接種を受けられます。 **VaccinateLACounty.com**にアクセスしてお近くの接種場を探しましょう。18歳未満の方は、接種会場がPfizerのワクチンを提供していることと、親/保護者の同意をどう証明するかを確認してください。里親の下で生活している場合は、あなたが同意する限り、介護者またはグループホームのスタッフが同意書を提供できます。

ワクチン接種場を見つけたり、接種場への交通手段が必要な場合、または自宅でのワクチン訪問接種を要求するには、公衆衛生局ワクチンコールセンターに**833-540-0473**または**2-1-1**まで電話をしてください。





COVID-19ワクチン 青少年が知っておくべきこと

どのような副反応がありますか？

- 副反応は一般的で、これはあなたの免疫が**保護力を構築している**ことを意味します。
- これには腕の痛みや赤み、疲労感、発熱、悪寒、頭痛、筋肉の痛みなどを含みます。ワクチン接種を受けた人全員に副反応が出るとは限りません。副反応は1日か2日で治まります。



COVID-19ワクチンは安全ですか？

はい！

- Pfizerの COVID-19ワクチンは厳重に監視され、検査されています。これは青少年向けに安全で効果的です。使用許可が出てからこれまでに、**何百万人も12歳から17歳の人**が安全にワクチン接種を受けています。
- 重症なアレルギー反応（アナフィラキシー）は、COVID-19ワクチンを含む、いかなるワクチンでも接種後に発症する可能性があります、これは非常に**稀**です。
- Pfizerのワクチン接種を受けた後に、少数の人、特に10代の少年や若年成人男性が、心臓の炎症（心筋炎と心膜炎）を発症しています。この症状は稀で、ほとんどの場合軽症であり、治療と休息によってよくなります。COVID-19に感染する方が、心筋炎やその他の心臓状態を発症するリスクはより高くなります。接種間隔の後半に（8週間目）2回目接種を受けることも、心筋炎のリスクを軽減します。
- ワクチンから**COVID-19に感染することはありません**。どのワクチンにもCOVID-19の原因となるウイルスは含まれていません。
- COVID-19のワクチンが青少年の発達や、将来子供を授かる能力に影響を及ぼすという証拠はありません。

ワクチン接種を受ける前に

- 医師、親・保護者、その他の信頼できる大人とCOVID-19のワクチンに関して話し合しましょう。わからないことがあれば質問しましょう。
- ワクチンクリニックがPfizerのワクチンを提供していることを確認してください。
- 18歳未満の方は、**親・保護者の同意**を得ていることを確認してください。

